

**(1)基本目標及びそれに基づく重点項目****基本目標 こどもの笑顔をつくるまち**

- 項目1 こどものすこやかな成長のための支援
- 項目2 こどもの学びに対する支援
- 項目3 こども・若者がいきいきと輝ける環境づくり
- 項目4 こども・若者を社会全体で支えるための環境づくり

**基本目標 住みよく安心できるまち**

- 項目1 心身ともに健康で暮らせる環境づくり
- 項目2 共生社会の実現
- 項目3 環境と調和した快適な都市基盤の形成
- 項目4 安全安心の地域づくり

**基本目標 活力ある魅力的なまち**

- 項目1 農水産業の持続的発展
- 項目2 地域経済をけん引する産業の振興
- 項目3 地域資源を活用した市の魅力発信
- 項目4 移住・定住の促進

**基本目標 多様な人々の流れをつくるまち**

- 項目1 地域の個性を活かした交流促進
- 項目2 愛着や誇りをもてるまちづくり
- 項目3 関係人口の創出

総合戦略P14～24参考

**(2)目標進捗率の算出方法**

進捗度を％で算出(実績 / 目標値 × 100)。小数点以下は第1位まで算出し、第2位以下は切り捨て。

例:実績値37人で目標値が80人だと $37 \div 80 \times 100 = 46.25\%$ となるが、小数点第2位以下は切り捨てで46.2%

**(3)指標分類の「その他(個別計画等)」とは**

基本目標に関連する各部署の個別計画等で重要な指標等

**(4)現状評価の判定基準 ※宇城市総合政策審議会で判定**

評価は「効果」「効率」「持続性」「公平性」の観点で評価を行い、総合判定に反映する。

S:対策や事業が施され、目標を上回る効果が出ており、目標が達成されている(達成可能である)。

A:達成率が80%以上で、かつ課題等の整理がなされ、対策が講じられている。

B:基本目標の達成に向けて、改善や工夫が必要と思われる。

C:外的要因・財政状況の変化等により、抜本的見直しが必要。

**(5)審議会で判定する際のポイント**

- ・目標値の設定根拠は明確か(根拠資料の提示)
- ・実績データは信頼性・更新頻度が確保されているか(集計方法、年次整合性)
- ・達成が難しい指標の場合代替案の提示があるか(指標修正、目標の再設定、事業停止の判断基準)
- ・部署横断の依存関係(複数部署での連携が必要な指標)がある場合の管理体制は構築されているか

No	基本目標 (4つのまちづくり 基本目標から選択)	重点項目 (各部署で選択)	指標分類	指標名	基準値	基準年	目標値 (R10)	方向性	根拠資料	R7実績	R8実績	R9実績	R10実績	目標進捗率	KPI達成のための評価 年度の取組内容	目標進捗率に影響した 主な要因	今後の取組(必要に応じ KPIの見直し等も含む)
1	こどもの笑顔をつくるまち		KPI	保育所利用待機児童数(年度末時点)	23人	R5	0人	↘	こども家庭庁「保育所等利用待機児童数調査要領」に基づき算出								
2	こどもの笑顔をつくるまち		KPI	放課後児童クラブの待機児童数(年度末時点)	11人	R5	0人	↘	実施状況調査								
3	こどもの笑顔をつくるまち		KPI	妊娠11週以内での妊娠届率	96.3%	R5	98%	↗	地域保健・健康増進事業報告 母子保健(妊娠の届出)								
4	こどもの笑顔をつくるまち		KPI	乳幼児健康診査の受診率	97.9%	R5	98%	↗	地域保健・健康増進事業報告 母子保健(健康診査)								
5	こどもの笑顔をつくるまち		KPI	熊本県学力・学習状況調査における正答率で全国平均を上回った教科数 (対象:小学3～6年生および中学1～2年生)	8教科/14教科	R5	14教科/14教科	↗	熊本県学力・学習状況調査								
6	こどもの笑顔をつくるまち		KPI	体力・運動能力検査で県平均を上回った項目数 (対象:小学5年生および中学2年生)	15項目/32項目	R5	32項目/32項目	↗	体力・運動能力検査								
7	こどもの笑顔をつくるまち		KPI	婚姻件数(暦年)	796組/4年 (R5:177組)	R5		↗	厚生労働省「人口動態統計」								
8	こどもの笑顔をつくるまち		KPI	地域学校協働活動に参加した地域住民の年間延べ人数	315人/年	R5	3,000人/年	↗	生涯学習課資料								
	こどもの笑顔をつくるまち		その他 (個別計画等)														
9	住みよく安心できるまち		KPI	要介護認定率	17%	R5	17%	→	介護保険事業状況報告								
10	住みよく安心できるまち		KPI	特定健康診査受診率	42%	R5	57%	↗	特定健診法定報告								
11	住みよく安心できるまち		KPI	特定保健指導受診率	69.9%	R5	75%	↗	特定健診法定報告								
12	住みよく安心できるまち		KPI	運動習慣がない人の割合(40～74歳)	男性:59.6% 女性:66.3%	R5	男性、女性ともに50%	↘	KDB 40～74歳 国保特定健診賛同票								
13	住みよく安心できるまち		KPI	乗り換え拠点(松橋駅、小川駅、三角駅)の1日当たり利用者数	松橋駅:1,633人/日 小川駅:1,038人/日 三角駅:314人/日	R5	松橋駅:1,700人/日 小川駅:1,000人/日 三角駅:300人/日	→	九州旅客鉄道株式会社「駅別乗車人員」								
14	住みよく安心できるまち		KPI	老朽危険空き家(Dランク)の解体数(累計)	17棟/154棟	R5	57棟/154棟	↗	老朽危険空き家除却補助実績件数								
15	住みよく安心できるまち		KPI	刑法犯認知件数(暦年)	146件/年	R5	前年より減少	↘	熊本県警察「市町村別主な犯罪の認知件数」								
16	住みよく安心できるまち		KPI	交通事故件数(暦年)	97件/年	R5	前年より減少	↘	熊本県警察「交通事故統計(年間)」								
	住みよく安心できるまち		その他 (個別計画等)														
17	活力ある魅力的なまち		KPI	農業生産額	2,454千万円/年	R5	2,532千万円/年 (2027(R9))	↗	農林水産省「市町村別農業産出額(推計)」								
18	活力ある魅力的なまち		KPI	企業投資額	17,260百万円/4年 (R5:7,385百万円)	R5	20,000百万円/4年 (年平均5,000百万円)	↗	立地協定投資金額								
19	活力ある魅力的なまち		KPI	製造業における粗付加価値額(暦年)	50,740百万円/年 (2022(R4))	R5	55,000百万円/年	↗	総務省・経済産業省「経済センサスー活動調査」?								
20	活力ある魅力的なまち		KPI	ふるさと納税受入額	5.6億円/年	R5	10億円/年	↗	市長政策課資料								
21	活力ある魅力的なまち		KPI	空き家・空き地/バンク年間成約件数	38件/年	R5	50件/年	↗	空き家・空き地/バンク媒介等報告書								
22	活力ある魅力的なまち		KPI	移住施策を活用した年間移住者数	29人/年	R5	50人/年	↗	移住支援金、空き家改修補助、子育て世帯住宅購入補助等の実績数								
	活力ある魅力的なまち		その他 (個別計画等)														
23	多様な人々の流れをつくるまち		KPI	公民館講座延べ参加者数	3,808人/年	R5	4,058人/年	↗	宇城市公民館運営審議会資料 主催講座一覧								
24	多様な人々の流れをつくるまち		KPI	物産館(市内4箇所)の年間売上額	20.7億円/年	R5	23.9億円/年	↗	指定管理業務報告書								
25	多様な人々の流れをつくるまち		KPI	観光入込客数	1,667千人/年	R5	1,849千人/年	↗	商工観光課資料								
26	多様な人々の流れをつくるまち		KPI	三角西港来訪者数	276千人/年	R5	314千人/年	↗	観光入込客統計調査								
	多様な人々の流れをつくるまち		その他 (個別計画等)														

基本目標　こどもの笑顔をつくるまち							担当部署名					
数値目標①　普段の生活の中で、幸せな気持ちになることがよくある児童生徒の							数値目標②　年少人口(0～14歳)割合(年度末時点)の維持					
重点項目①							重点項目②					
No	指標分類	指標名	基準値	基準年	目標値 (R10)	方向性	根拠資料	R7実績	R8実績	R9実績	R10実績	目標進捗率
例	KPI	保育所利用待機児童数(年度末時点)	23人	R5	0人	↘	こども家庭庁「保育所等利用待機児童数調査要領」に基づき算出	20人(仮)				20%

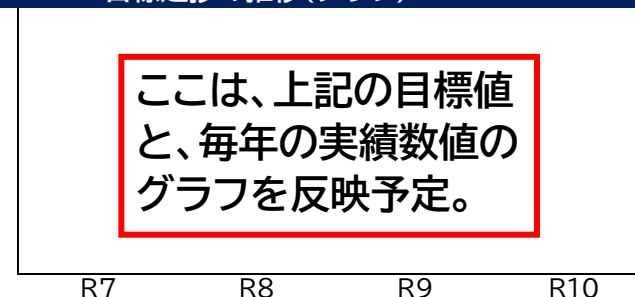
### 前回評価時の今後の取組

--

### KPI達成のための各年度取組内容

R7	
R8	
R9	
R10	

### 目標進捗の推移(グラフ)



### 今後の取組(必要に応じKPIの見直し等も含む)

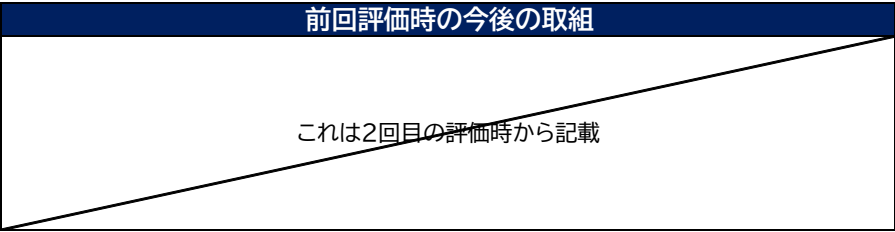
--

### 目標進捗率に影響した主な要因

--

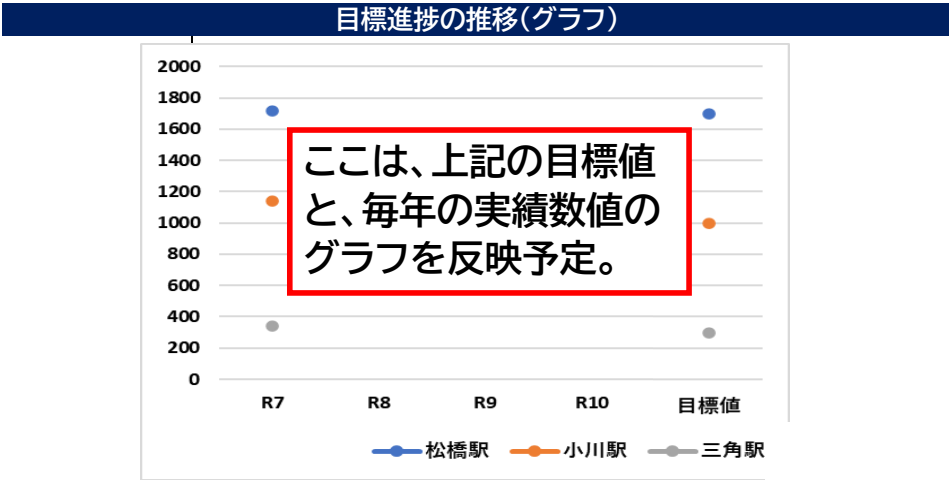
審議会での現状評価	審議会からの評価に対する意見詳細(理由等)

基本目標 住みよく安心できるまち					担当部署名		企画課企画統計係					
数値目標 宇城市に住み続けたいと思う市民の割合												
重点項目 環境と調和した快適な都市基盤の形成												
No	指標分類	指標名	基準値	基準年	目標値 (R10)	方向性	根拠資料	R7実績	R8実績	R9実績	R10実績	目標進捗率
13	KPI	乗り換え拠点 (松橋駅、小川駅、三角駅)の1日当たり利用者数	松橋駅:1,633人／日 小川駅:1,038人／日 三角駅:314人／日	R5	松橋駅:1,700人／日 小川駅:1,000人／日 三角駅:300人／日	→	九州旅客鉄道株式会社「駅別乗車人員」	R6実績値 (R7出てないため) 松橋駅:1,716人／日 小川駅:1,141人／日 三角駅:338人／日				松橋駅:100.9% 小川駅:114.1% 三角駅:112.6%



KPI達成のための各年度取組内容	
R7	松橋駅については、松橋産交の移転により、乗降場所が松橋駅前に変更となり、鉄道とバス路線を結節した。また、松橋駅、小川駅、三角駅はともに乗合タクシー導入地区の乗降場所としている。
R8	
R9	
R10	

目標進捗率に影響した主な要因
松橋産交の移転による松橋駅前への乗降場所の変更に伴う、鉄道とバス路線の結節。また令和2年度から毎年度利用者数は増加しており、コロナ禍の減少から回復傾向が続いているが、完全にはコロナ禍前には回復していないので、しばらく利用者微増は続くと思われる。



今後の取組(必要に応じKPIの見直し等も含む)
乗合タクシーのダイヤの見直し、小川駅利用者への利用促進策の検討。KPIの目標値の見直し。回復前に戻す松橋駅:1,700人/日、小川駅:1,000人/日、三角駅:300人/日

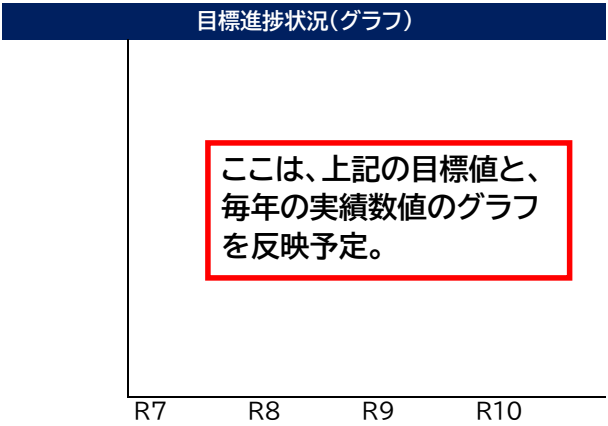
審議会での現状評価	審議会からの評価に対する意見詳細(理由等)
A	現時点で目標値を達成している。KPIの方向性は維持だが、目標値を少し上げる等見直してもいいのではないかと。

No	基本目標 (4つのまちづくり 基本目標から選択)	指標分 類	指標名	基準値	基準 年	目標値 (R10)	方向性	根拠資料	R7実 績	R8実 績	R9実 績	R10 実績	目標進 捗率
1	こどもの笑顔をつくるまち	数値目 標	普段の生活の中で、幸せな気持ちになることがよくある児童生徒の割合	小学生:48.1% 中学生:39.5%	R5	小中学生ともに55%	↗	全国学力学習状況調査					
2	こどもの笑顔をつくるまち	数値目 標	年少人口(0～14歳)割合(年度末時点)	12.1%	R5	12.1%	→	市民課「年齢別人口」から算出					
3	住みよく安心して きるまち	数値目 標	宇城市に住み続けたいと思う市民の割合	87.2%	R5	90%	↗	市企画課調べ (市民アンケート調査より)					
4	活力ある魅力的 なまち	数値目 標	社会増減数	-60人/年	R5	±0人/年	↗	市民課「住民異動一覧」から算出					
5	活力ある魅力的 なまち	数値目 標	総所得金額等の数	65,613百万円/年	R5	67,500百万円/年	↗	総務省「市町村税課税状況等の調(第11表)」					
6	多様な人々の流れをつくるまち	数値目 標	宇城市に愛着を持っている市民の割合	72%	R5	80%	↗	市企画課調べ (市民アンケート調査より)					

基本目標 こどもの笑顔をつくるまち											
No	指標(数値目標)	基準値	基準年	目標値 (R10)	方向 性	根拠資料	実績値				目標進捗率
							R7	R8	R9	R10	
1	普段の生活の中で、幸せな 気持ちになることがよくあ る児童生徒の割合	小学生:48.1% 中学生:39.5%	R5	小中 学生 とも に 55%	↗	全国学力学習 状況調査	小学生:●% 中学生:●%				小学生:●% 中学生:●%

前回評価時の今後の取組	

目標進捗率に影響した各年度取組内容の分析 (進捗の要因等)	
R7	
R8	
R9	
R10	



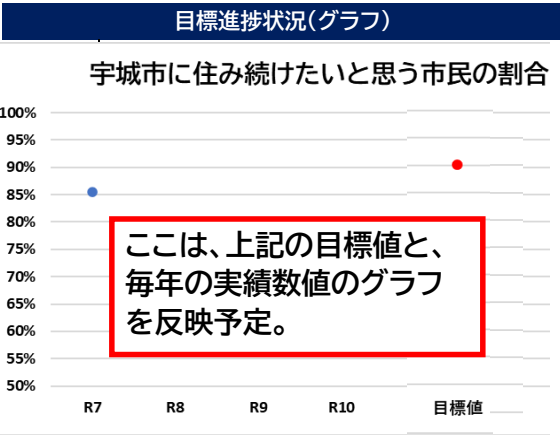
現状分析を踏まえた今後の取組	

審議会 現状評価	評価の詳細(理由等)

基本目標 住みよく安心できるまち											
No	指標(数値目標)	基準値	基準年	目標値(R10)	方向性	根拠資料	実績値				目標進捗率
							R7	R8	R9	R10	
1	宇城市に住み続けたいと思う市民の割合	87.2%	R5	90%	↗	市企画課調べ(市民アンケート調査より)	85.5% 仮測定				95%

前回評価時の今後の取組
これは2回目の評価時から記載

目標進捗率に影響した各年度の取組内容の分析 (進捗の要因等)	
R7	基準値よりR7実績が下がっている。市民アンケート(R7仮測定参考)の住みにくさの理由の回答を見ると、「公共交通の利便性」「買い物」「働く環境整備」が上位で挙げられていた。これらの施策の進捗が影響していると考えられる。
R8	
R9	
R10	



現状分析を踏まえた今後の取組
「公共交通の利便性」「買い物」「働く環境整備」の対策

審議会 現状評価	評価の詳細(理由等)